

## 第53回 九州地区子ども会育成研究協議会（長崎大会）に参加して

今回は3つの部会とも全て同じテーマ「～コロナ禍の今、私たちにできること～」(サブテーマ)のもと、①コロナ禍で行った子ども会活動 ②ウィズコロナの子ども会でできそうな活動 ③これから取り組みたい子ども会活動 などについての協議でした。

市子協として3年ぶりに国立阿蘇青少年交流の家で夏のキャンプをおこないました。キャンプに当たり2週間前から体温検査、マスク着用など健康に注意して実施したこと、参加した子どもたちやお世話をしたジュニア・リーダーたちが生き生きと活動したことなどを発表しました。

いろんなゲームが出来て、沢山の賞品ももらえて、参加者に大変喜んでもらった秋の子ども会大会なども紹介しました。

又、熊本市の単位子ども会のそれぞれの地区での活動を、市子協のホームページで紹介しそれを冊子にした「子ども会活動の実際」や「子ども会活動実践編」その他「子ども会活動のあり方」などの冊子を回覧し紹介しました。冊子を見た他の子ども会の方も感心していました。人数の少ない子ども会でもいろいろな活動が出来ることなど、それぞれ地区に帰り検討すると言っていました。

回覧した冊子は手元に戻りませんでした。どこかの子ども会で活用して頂ければ幸いです。

熊本市子ども会育成協議会 副会長 野元 俊江

